

分野適応型機械翻訳システム

自社の特許や社内文書を的確に翻訳する技術を実現

- 豊橋技術科学大学 特命教授 井佐原均 ● シンフォニアテクノロジー(株) 室長 小林直樹
- 武蔵精密工業(株) 小松大輔 ● 日本マイクロソフト(株) 業務執行役員CTO 田丸健三郎
- グローバルデザイン(株) 代表取締役 白旗保則

概要

近年、深層学習によって自然言語処理技術は急速に発展したが、機械翻訳システムにおいては、流暢度は高いが、ビジネスで使うには正確度に難がある。本研究では、特許や社内文書を対象に、個別企業のニーズへのチューニング技術を開発した。これにより個々の業界において実ビジネスで利用可能な高性能機械翻訳システムを容易に実現することが可能となる。

特長

- 特許文を対象に、対象分野の特許対訳で学習させたシステムにより、日英翻訳において汎用システムに比べて忠実度の向上が得られた。
- 社内文書の翻訳や、英日翻訳においても、性能向上を実現した。

翻訳対象文言（日本語）

ウェーハなどの半導体デバイスの微細化が進むにつれ、昨今は異物のみならず、ウェーハに水分が付着することによる品質の低下についても懸念されてきている。

翻訳

違和感があるものという意味の「異物」

翻訳結果文言（英語）「追加学習なし」

As semiconductor devices such as wafers become more miniaturized, there have been concerns about the deterioration of quality due not only to foreign matter but also to the wafer.

不純物という意味の「異物」

翻訳結果文言（英語）「追加学習」

As semiconductor devices such as wafers are becoming finer, there has been concern recently about the deterioration of quality due to the adhesion of moisture to the wafer, but also to foreign substances.

© 2021 - 知の拠点 翻訳確認(日→英)

分野にチューニングした機械翻訳システム

- お問い合わせ先 追手門学院大学 教授 井佐原均
e-mail : h-isahara@otemon.ac.jp 電話番号:072-665-5761